

東京2020大会に向けて カウントダウンボードを設置

東京2020オリンピック・パラリンピックまで、いよいよあと2年。
大会をより盛り上げていくためのカウントダウンボードが市内各所に設置されました。

9月2日、市では2年後に控えた東京2020オリンピック・パラリンピックをPRするため、市役所庁舎とJR吉祥寺駅、三鷹駅、武蔵境駅の各所に大会開催までの残日数を数えるカウントダウンボードを設置しました。今後、開会式が行われる2020年7月24日（オリンピック）と8月25日（パラリンピック）まで1日ずつカウントダウンし、東京2020大会に向けて機運醸成を図っていきます。

※JR三鷹駅のカウントダウンボードは三鷹市との共同制作です。



市役所庁舎



設置前日となる9月1日に武蔵野総合体育館・陸上競技場で開催された「Sports for All パラ・フェスタ」(※P.9参照)のゲストトーク冒頭で、市長とスペシャルゲスト田中理恵さん(元体操女子日本代表)によるカウントダウンボードのお披露目が行われました。

スポーツボランティア「HANDS」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に今年6月に結成された、武蔵野市スポーツボランティア「HANDS」。メンバーは一般募集から集まった学生を中心とした市民の方々です。現在48名の方に登録いただき、メンバーは随時募集中です。市内のスポーツイベントや競技大会と一緒に支える喜びを共有したい方、登録をお待ちしています。



ジュニア特派員

分科会所属団体を通じて、今年度は12名の小・中・高校生が集まり、市内のスポーツイベントなどを取材し、子どもならではの視点で事業の魅力を発信していきます。取材した内容は、広報誌として発信する予定なので楽しみに！「Sports for All パラ・フェスタ」でも、9名のジュニア特派員が活動し、田中理恵さんをはじめとしたゲストへのインタビューや体験プログラムなどの取材を行いました。

